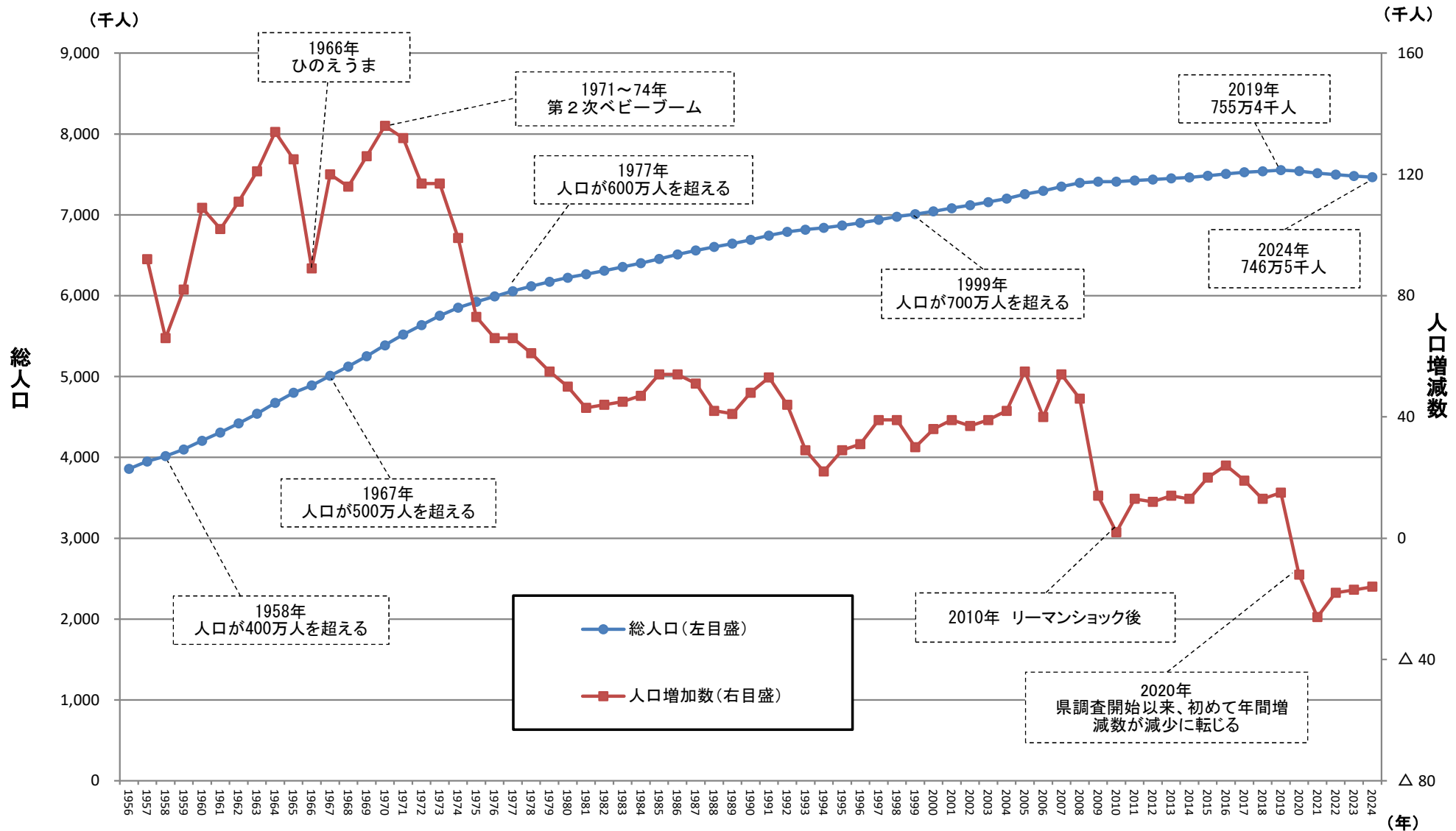


本県の人口動向

愛知県の人口の推移



○ 愛知県の人口は、2019年の約755万4千人をピークに5年連続の減少となり、2024年10月1日時点で約746万5千人となっている。



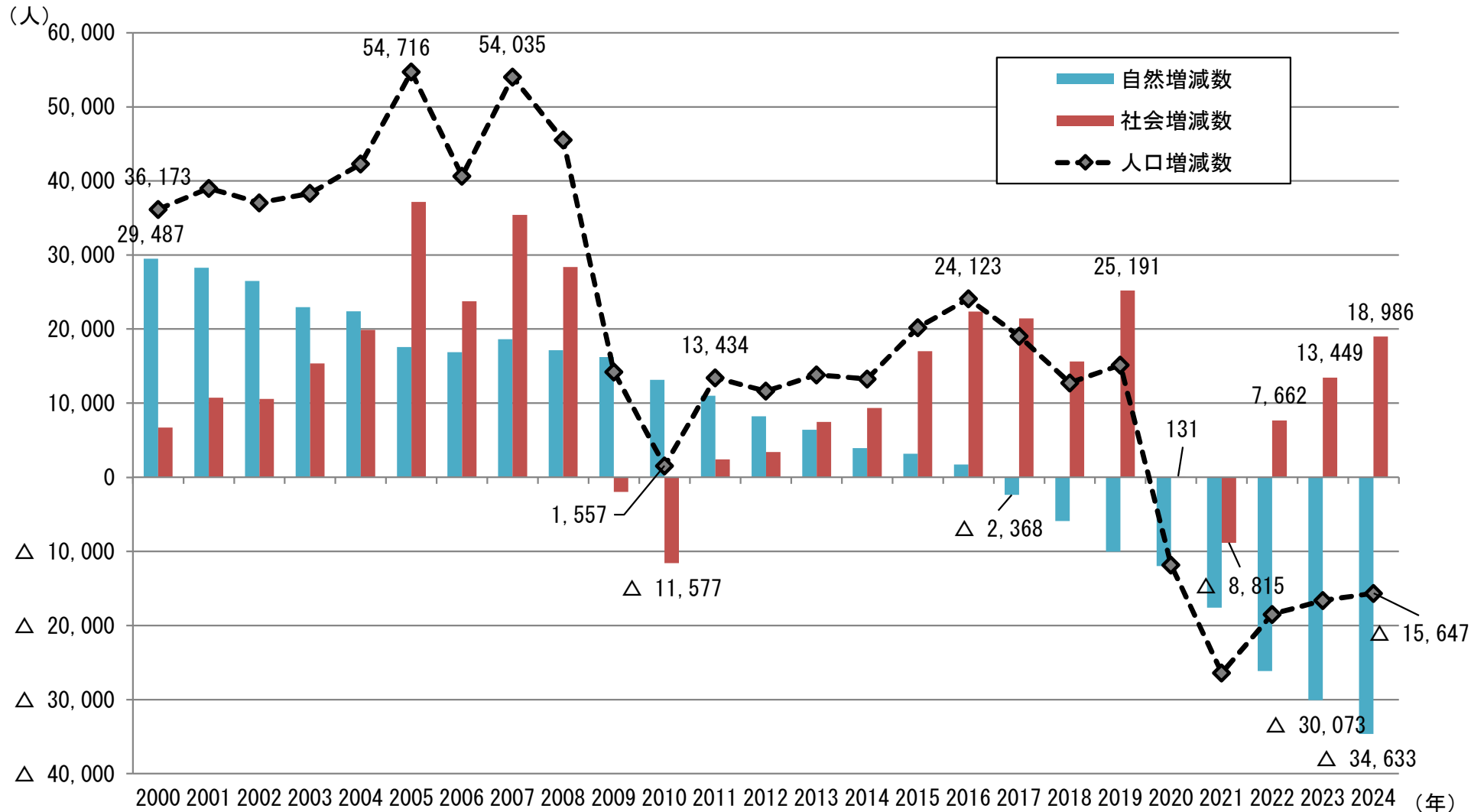
出典: 愛知県「あいちの人口」をもとに作成

※総人口は各年10月1日現在、人口増加数は前年10月～当年9月(外国人を含む)

要因別の人口増減数の推移



- 愛知県の人口の自然増減数は、2017年に減少に転じて以降、減少幅が拡大しており、2024年は34,633人の減少となった。
- 一方で社会増減数は、経済環境や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2021年は11年ぶりにマイナスとなったが、2022年から増加に転じ、2024年は18,986人の増加となった。

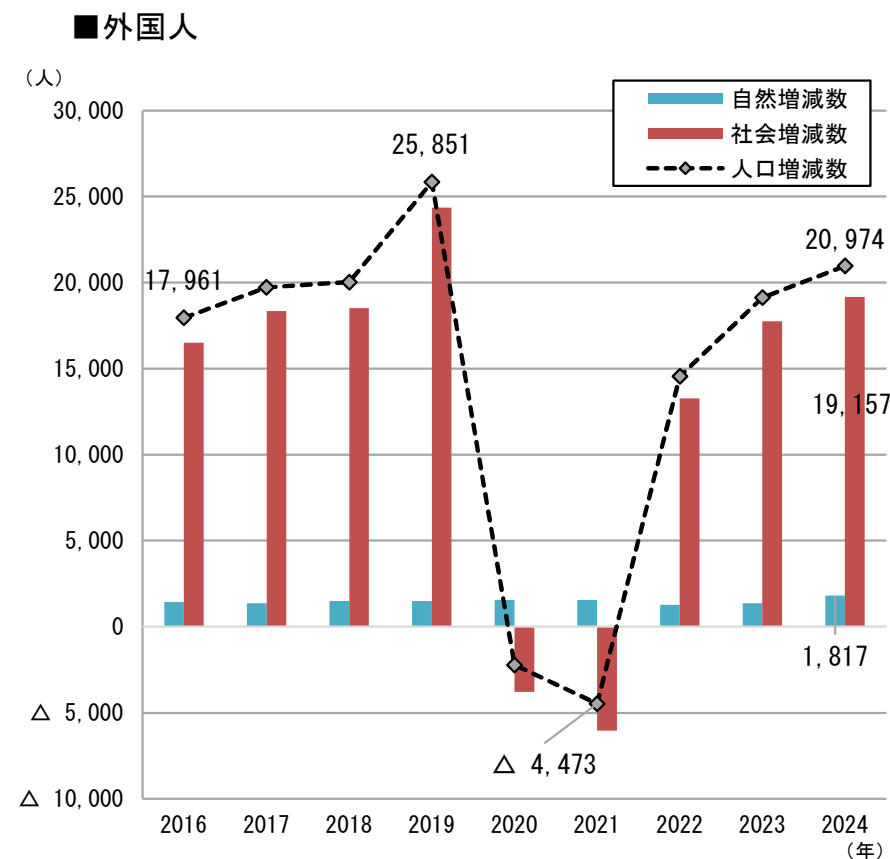
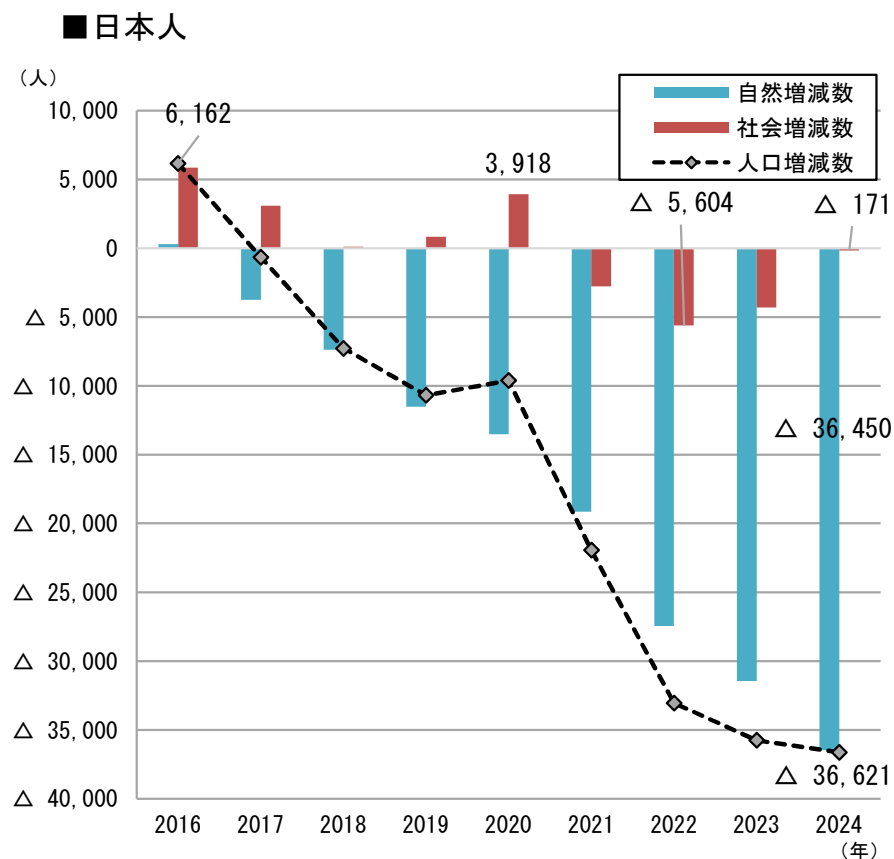


出典:愛知県「あいちの人口」をもとに作成 ※人口増減数は前年10月～当年9月

日本人・外国人別の人口増減数の推移



- 県内の日本人は、自然減の拡大に伴い、減少幅が拡大している。
- 外国人の人口については、2019年は年2万人を超える増加であったものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国規制等により、2020年・2021年は減少となった。入国規制の緩和等に伴い、2022年は再び増加に転じ、2024年は20,974人の増加となった。



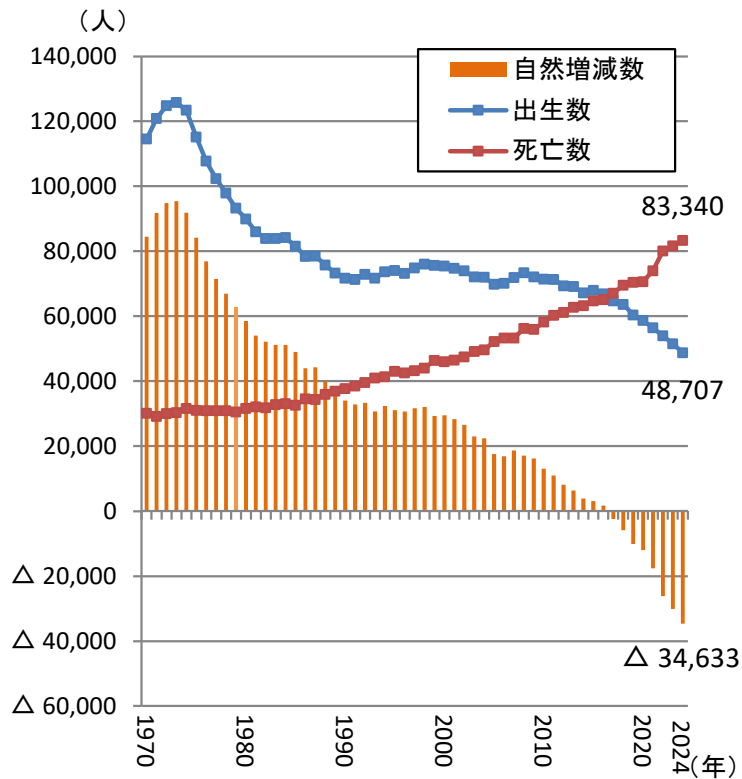
出典:愛知県「あいちの人口」をもとに作成
 ※人口増減数は前年10月～当年9月

自然増減



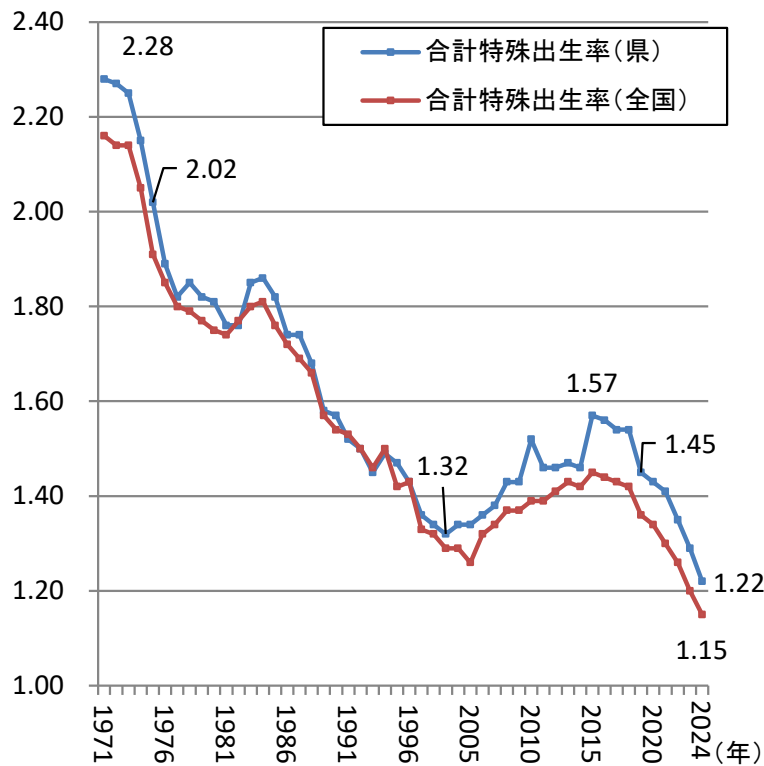
- 愛知県の出生数は減少が続く一方、死亡数は大きく増加しており、自然増減数の減少幅の拡大が続いている。
- 合計特殊出生率は2003年の1.32を底に緩やかな上昇傾向が続いていたが、2015年を境に低下傾向となり、2024年は1.22。全国で高い方から27番目であるが、大都市圏の中では高い水準。

■ 愛知県の自然増減数の推移



出典: 愛知県「あいちの人口」をもとに作成

■ 合計特殊出生率の推移



出典: 厚生労働省「人口動態統計」

※都道府県別合計特殊出生率

順位	都道府県名	合計特殊出生率
1	沖縄	1.54
2	福井	1.46
3	島根	1.43
3	鳥取	1.43
3	宮崎	1.43
6	佐賀	1.41
7	長崎	1.39
7	熊本	1.39
9	鹿児島	1.38
10	大分	1.37
11	山口	1.36

27	愛知県	1.22
----	-----	------

36	青森	1.14
36	新潟	1.14
36	大阪	1.14
39	岩手	1.09
39	埼玉	1.09
39	千葉	1.09
42	神奈川	1.08
43	京都	1.05
44	秋田	1.04
45	北海道	1.01
46	宮城	1.00
47	東京	0.96

全国	1.15
----	------

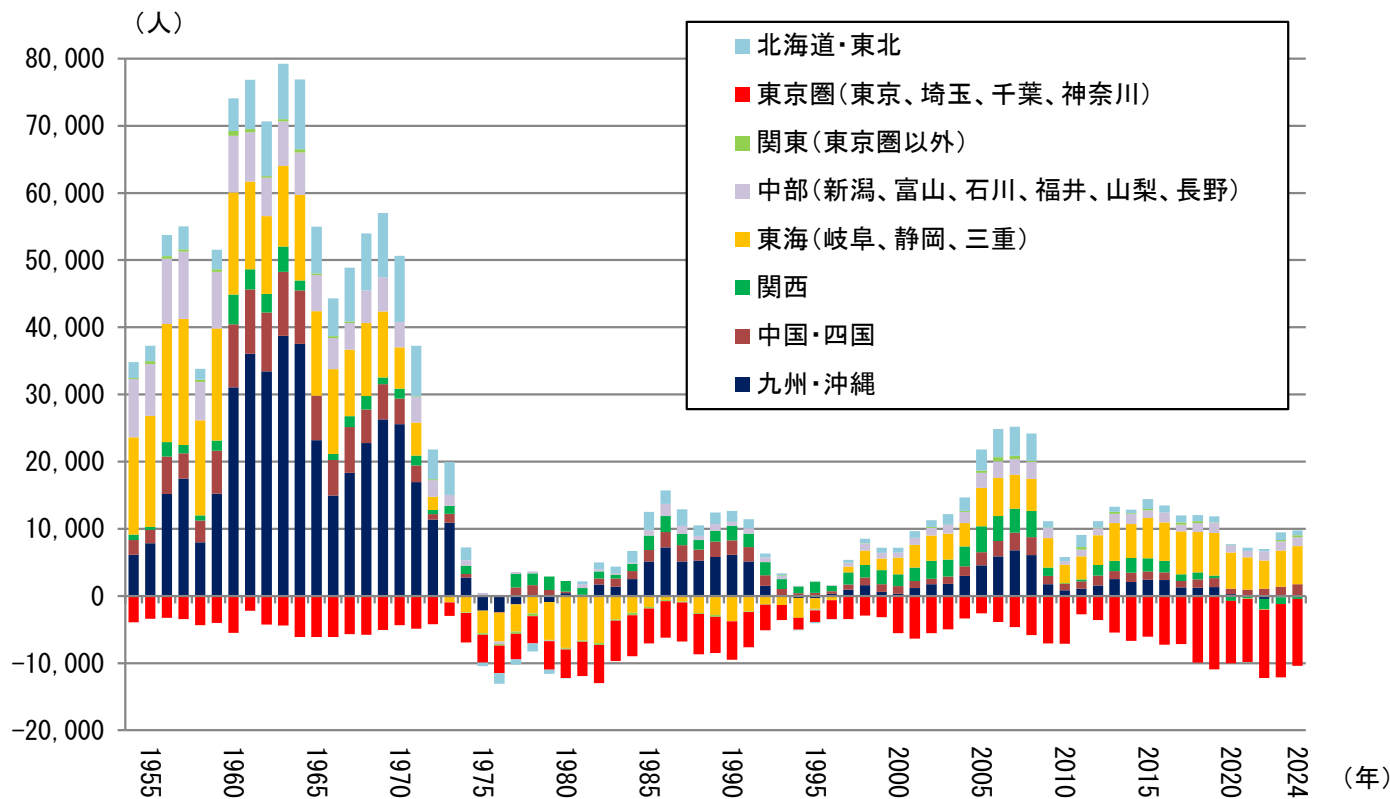
…大都市圏

転出入超過数の推移

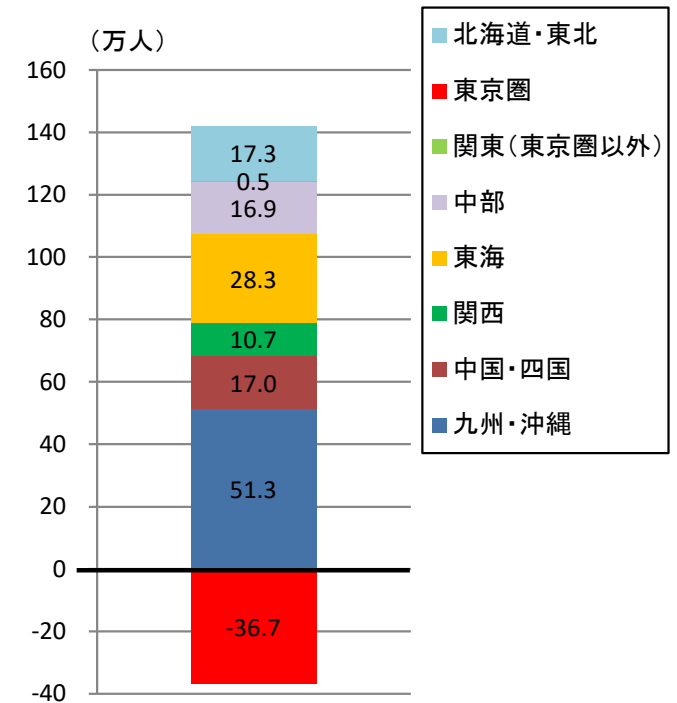


- 東京圏に対しては転出超過が続いており、近年では約1万人の転出超過の傾向にある。
- 関西に対しては2020年以降転出超過の傾向にある。
- その他の地域に対しては、2024年は転入超過である。

■ 本県と全国地域ブロック別の転出入の推移



■ 転入超過数累計(1954年～2024年)



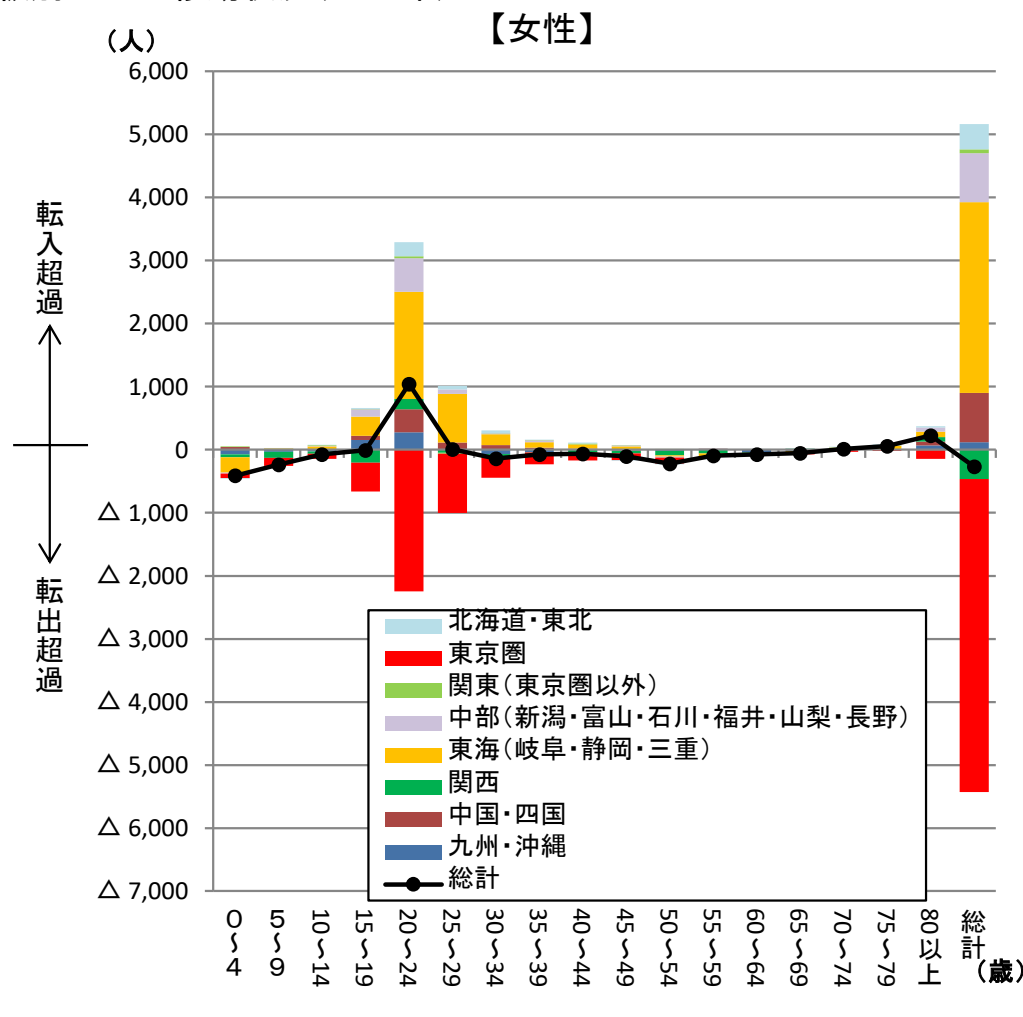
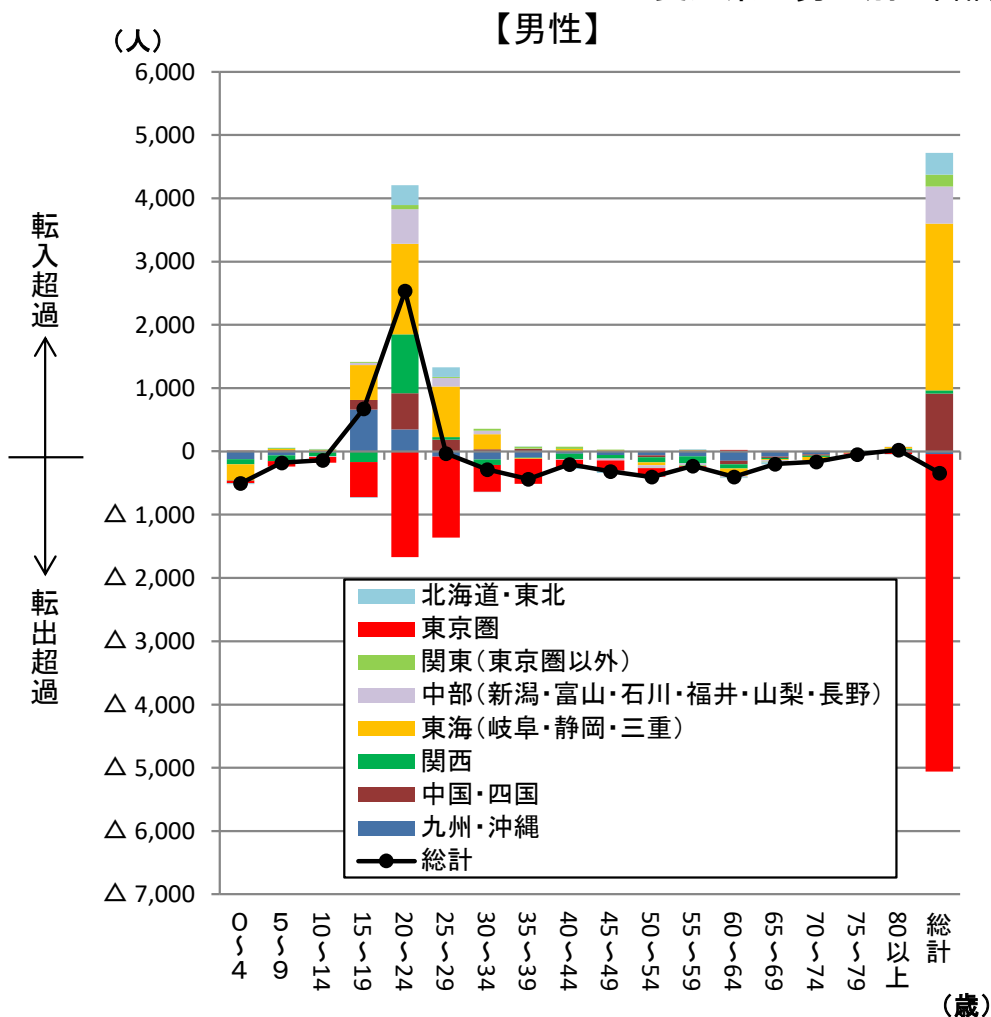
出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」をもとに作成
※日本人のみ

男女別・年齢別転出入超過数(国内移動)



- 男性は、15～24歳で東海(岐阜・静岡・三重)、中国・四国、九州・沖縄などを中心に転入超過となっているが、東京圏(東京・埼玉・千葉・神奈川)に対しては20～29歳で転出超過が大きくなっている。
- 女性は、東海からの転入超過が男性よりも大きいですが、東京圏に対しては、大学卒業後の就職時に当たる20～24歳における転出超過が、男性よりも大きくなっている。

愛知県の男女別・年齢階級別の人口移動状況(2024年)

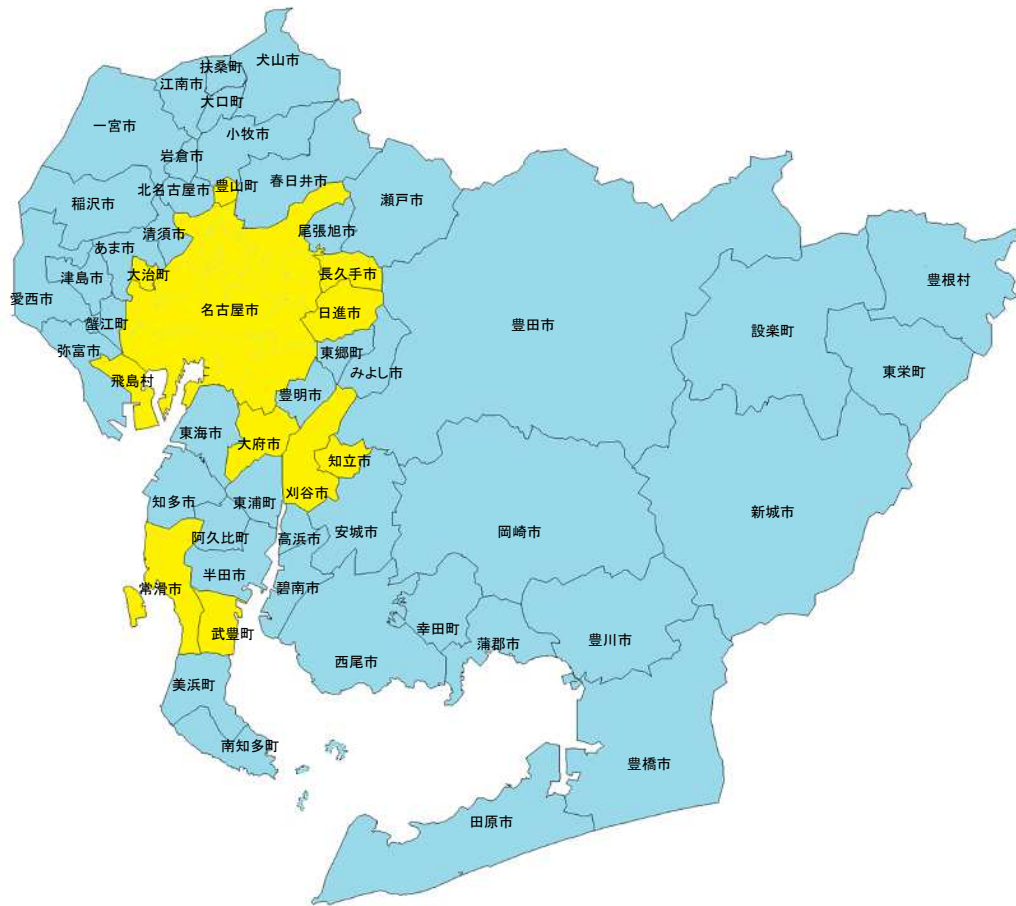


出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」をもとに作成
 ※2024年1月1日から12月31日までの移動の計、日本人のみ

市町村別人口



○ 直近1年間(2023年10月～2024年9月)の県内の市町村別人口は、名古屋市をはじめ11市町村で増加した一方、中核市を含む43市町村で減少しており、人口減少地域は県内全域に広がっている。



: 人口が増加している市町村
 : 人口が減少している市町村

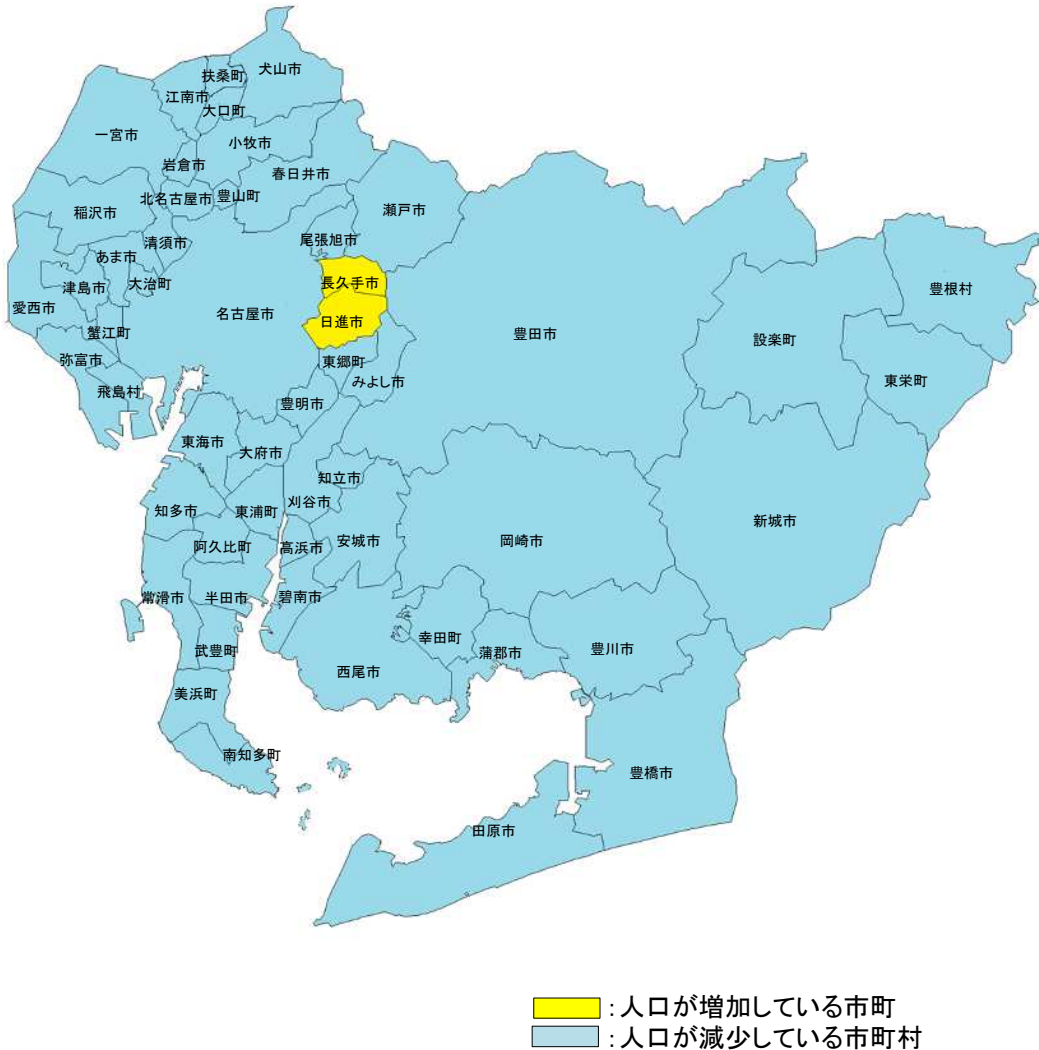
市町村名	2024.10.1 推計人口	2023.10～24.9 人口増減数	市町村名	2024.10.1 推計人口	2023.10～24.9 人口増減数
名古屋市	2,331,264	4,581	岩倉市	47,635	△ 110
豊橋市	362,810	△ 2,536	豊明市	68,302	△ 181
岡崎市	381,268	△ 625	日進市	93,264	258
一宮市	372,927	△ 1,552	田原市	56,654	△ 597
瀬戸市	125,184	△ 1,045	愛西市	58,680	△ 570
半田市	114,686	△ 1,027	清須市	66,677	△ 250
春日井市	303,833	△ 1,486	北名古屋市	86,009	△ 262
豊川市	183,812	△ 433	弥富市	42,231	△ 174
津島市	58,680	△ 639	みよし市	62,100	△ 20
碧南市	71,726	△ 258	あま市	85,571	△ 230
刈谷市	154,067	468	長久手市	61,531	348
豊田市	414,531	△ 1,596	東郷町	43,875	△ 7
安城市	185,718	△ 585	豊山町	15,743	92
西尾市	167,145	△ 762	大口町	24,058	△ 161
蒲都市	77,435	△ 540	扶桑町	34,305	△ 2
犬山市	71,014	△ 809	大治町	32,968	74
常滑市	58,232	16	蟹江町	36,628	△ 271
江南市	96,147	△ 446	飛島村	4,462	11
小牧市	145,501	△ 851	阿久比町	27,862	△ 174
稲沢市	131,490	△ 643	東浦町	49,478	△ 81
新城市	41,455	△ 777	南知多町	15,047	△ 439
東海市	112,267	△ 261	美浜町	21,431	△ 281
大府市	93,178	2	武豊町	43,329	84
知多市	82,137	△ 415	幸田町	42,024	△ 183
知立市	72,474	335	設楽町	3,871	△ 143
尾張旭市	83,057	△ 204	東栄町	2,597	△ 66
高浜市	45,990	△ 197	豊根村	890	△ 27
			愛知県	7,465,250	△ 15,647

出典: 愛知県「あいちの人口(年報)」をもとに作成

市町村別の自然増減数



○ 直近1年間(2023年10月～2024年9月)の県内の自然増減数は、長久手市をはじめ2市では増加した一方、他の52市町村では減少している。



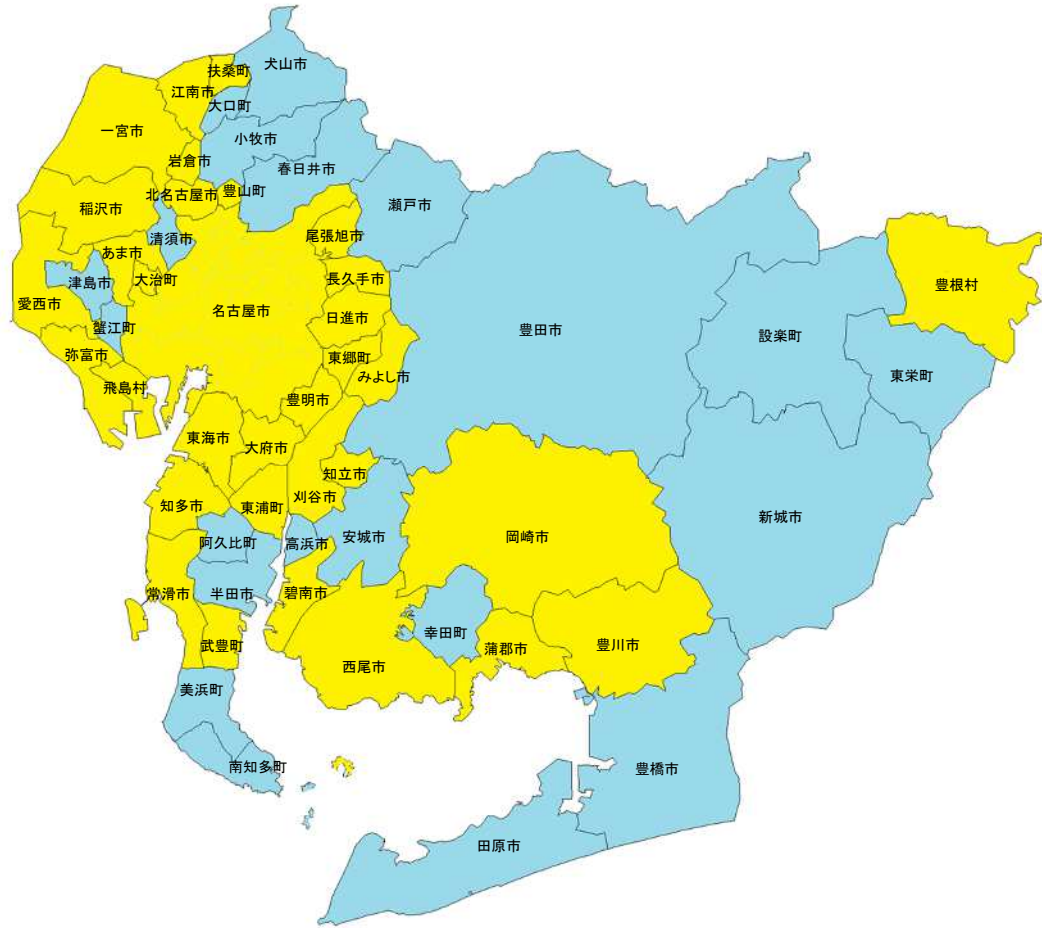
市町村名	2023.10～24.9 自然増減数	市町村名	2023.10～24.9 自然増減数
名古屋市	△ 11,260	岩倉市	△ 152
豊橋市	△ 2,179	豊明市	△ 314
岡崎市	△ 1,080	日進市	87
一宮市	△ 2,177	田原市	△ 588
瀬戸市	△ 952	愛西市	△ 637
半田市	△ 750	清須市	△ 162
春日井市	△ 1,372	北名古屋市	△ 278
豊川市	△ 856	弥富市	△ 235
津島市	△ 588	みよし市	△ 31
碧南市	△ 301	あま市	△ 508
刈谷市	△ 81	長久手市	96
豊田市	△ 1,347	東郷町	△ 105
安城市	△ 439	豊山町	△ 14
西尾市	△ 915	大口町	△ 51
蒲郡市	△ 655	扶桑町	△ 166
犬山市	△ 550	大治町	△ 102
常滑市	△ 340	蟹江町	△ 151
江南市	△ 661	飛島村	△ 59
小牧市	△ 681	阿久比町	△ 167
稲沢市	△ 826	東浦町	△ 157
新城市	△ 603	南知多町	△ 286
東海市	△ 361	美浜町	△ 268
大府市	△ 30	武豊町	△ 170
知多市	△ 433	幸田町	△ 116
知立市	△ 19	設楽町	△ 116
尾張旭市	△ 331	東栄町	△ 65
高浜市	△ 100	豊根村	△ 31
		愛知県	△ 34,633

出典: 愛知県「あいちの人口(年報)」をもとに作成

市町村別の社会増減数



○ 直近1年間(2023年10月～2024年9月)の県内の社会増減数は、名古屋市をはじめ33市町村では増加した一方、他の21市町村では減少している。



:人口が増加している市町
 :人口が減少している市町村

市町村名	2023.10～24.9 社会増減数	市町村名	2023.10～24.9 社会増減数
名古屋市	15,841	岩倉市	42
豊橋市	△ 357	豊明市	133
岡崎市	455	日進市	171
一宮市	625	田原市	△ 9
瀬戸市	△ 93	愛西市	67
半田市	△ 277	清須市	△ 88
春日井市	△ 114	北名古屋市	16
豊川市	423	弥富市	61
津島市	△ 51	みよし市	11
碧南市	43	あま市	278
刈谷市	549	長久手市	252
豊田市	△ 249	東郷町	98
安城市	△ 146	豊山町	106
西尾市	153	大口町	△ 110
蒲郡市	115	扶桑町	164
犬山市	△ 259	大治町	176
常滑市	356	蟹江町	△ 120
江南市	215	飛島村	70
小牧市	△ 170	阿久比町	△ 7
稲沢市	183	東浦町	76
新城市	△ 174	南知多町	△ 153
東海市	100	美浜町	△ 13
大府市	32	武豊町	254
知多市	18	幸田町	△ 67
知立市	354	設楽町	△ 27
尾張旭市	127	東栄町	△ 1
高浜市	△ 97	豊根村	4
		愛知県	18,986

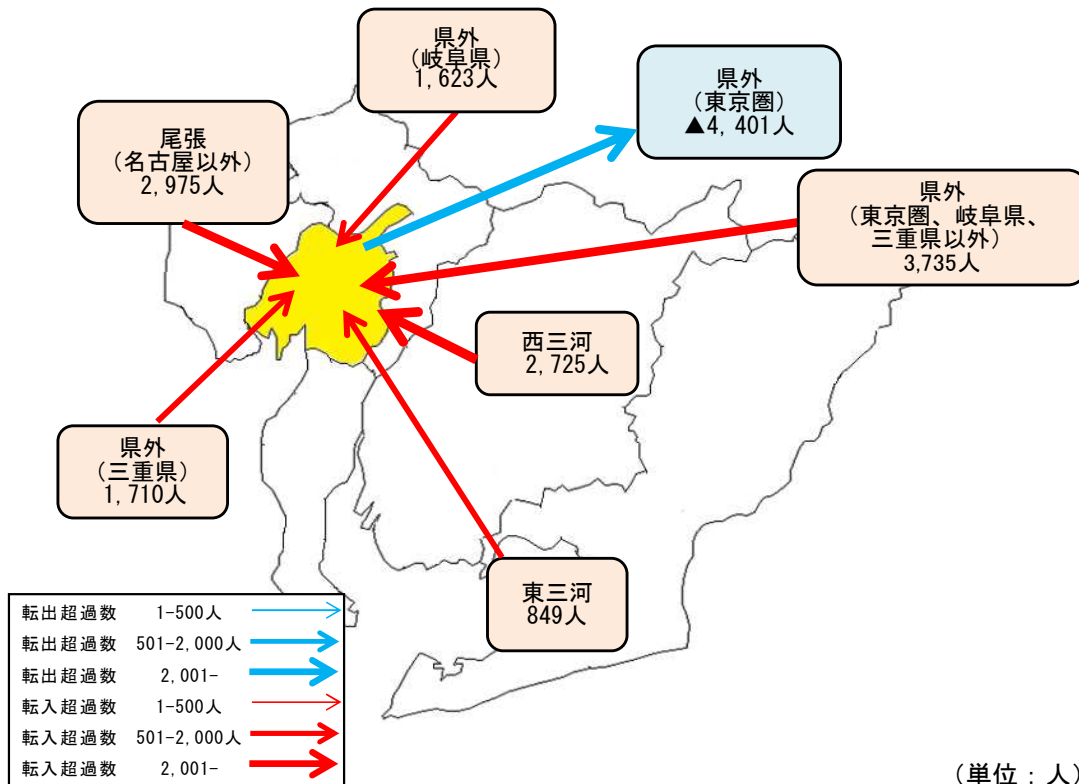
出典:愛知県「あいちの人口(年報)」をもとに作成

地域別の転出入の状況①(名古屋)



- 名古屋地域の転出入は、9,216人の転入超過となっている。東京圏を除き、県内外全ての地域に対して転入超過となっている。
- 男女ともに、20~24歳の若者層を中心に転入超過となっている。

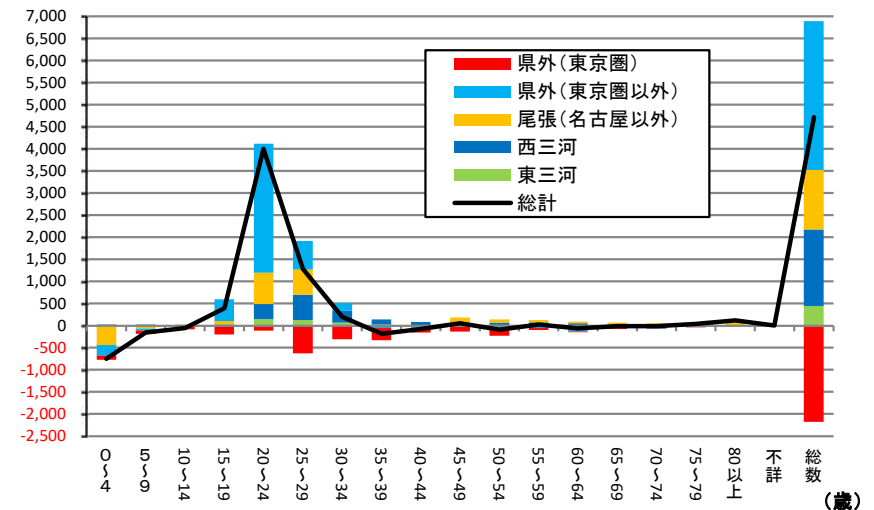
名古屋地域における転出入の状況 (2024年)



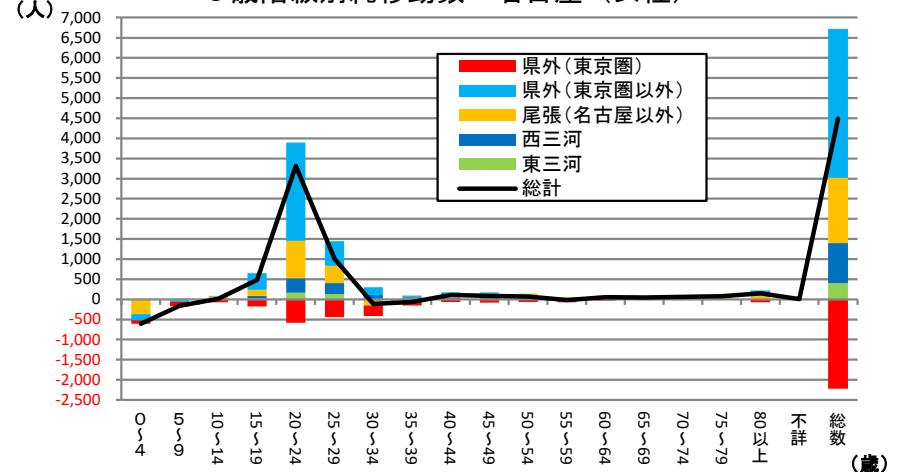
(単位：人)

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
転入超過数 (県内)	4,849	3,666	3,577	4,955	6,549
転入超過数 (県外)	1,758	674	519	1,753	2,667
転入超過数 (うち東京圏)	△ 3,946	△ 4,111	△ 4,352	△ 4,869	△ 4,401
転入超過数 (総計)	6,607	4,340	4,096	6,708	9,216

(人) 5歳階級別純移動数 名古屋 (男性)



(人) 5歳階級別純移動数 名古屋 (女性)

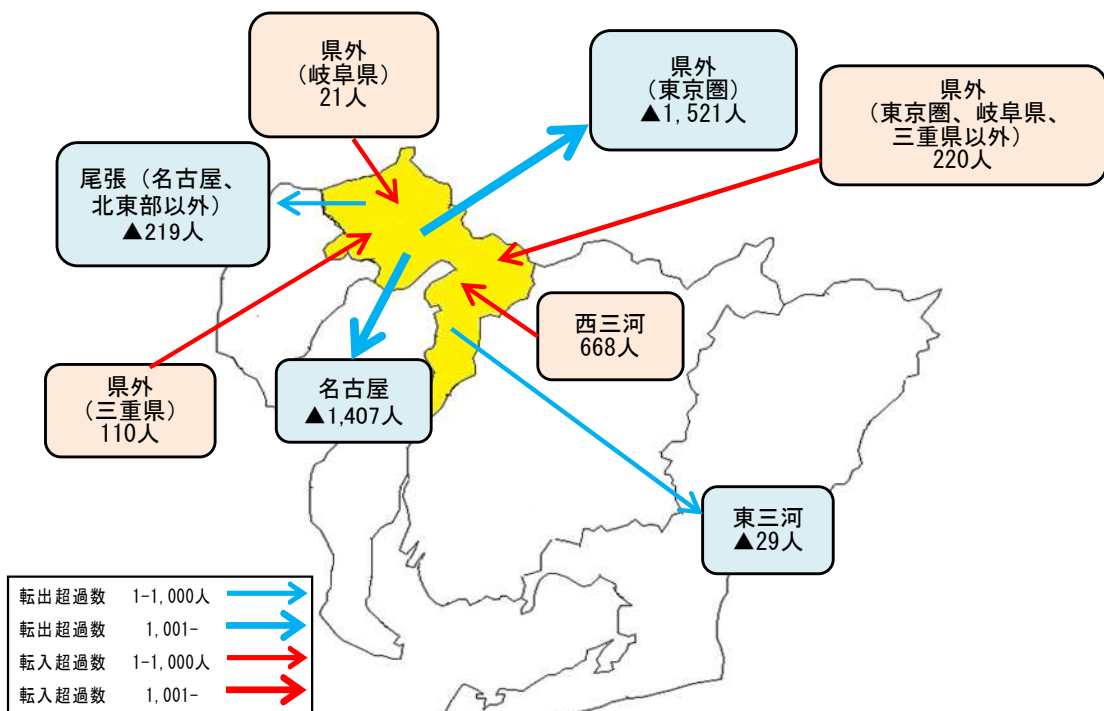


地域別の転出入の状況②(尾張北東部)



- 尾張北東部地域の転出入は、2,157人の転出超過となっている。東京圏や名古屋市等に対し転出超過となっている。
- 男女ともに、20~29歳を中心に転出超過となっている。

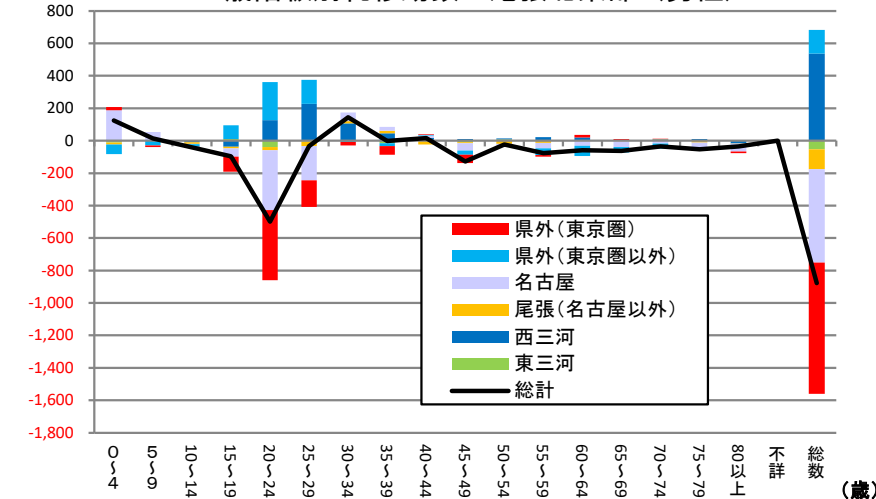
尾張北東部地域における転出入の状況 (2024年)



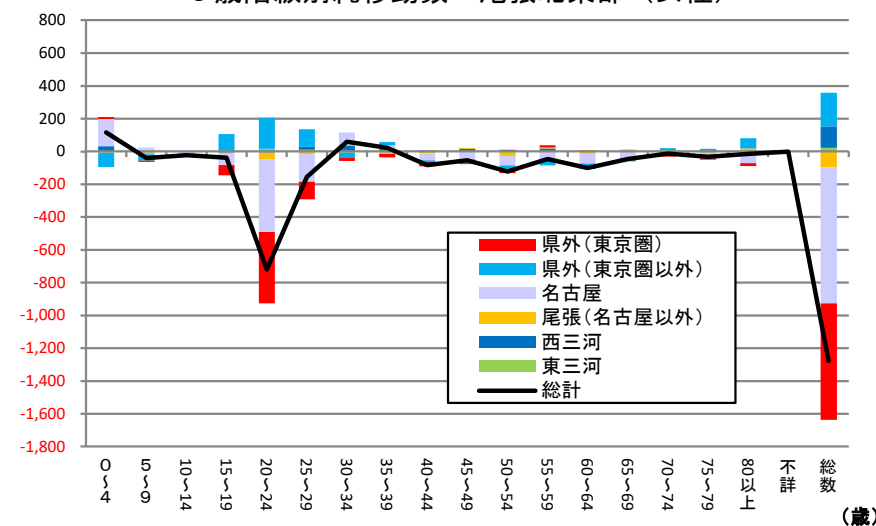
(単位:人)

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
転入超過数(県内)	1,136	1,180	△ 43	△ 277	△ 987
転入超過数(県外)	△ 1,362	△ 1,193	△ 1,723	△ 1,462	△ 1,170
転入超過数(うち東京圏)	△ 2,035	△ 1,352	△ 1,603	△ 1,558	△ 1,521
転入超過数(総計)	△ 226	△ 13	△ 1,766	△ 1,739	△ 2,157

5歳階級別純移動数 尾張北東部(男性)



5歳階級別純移動数 尾張北東部(女性)

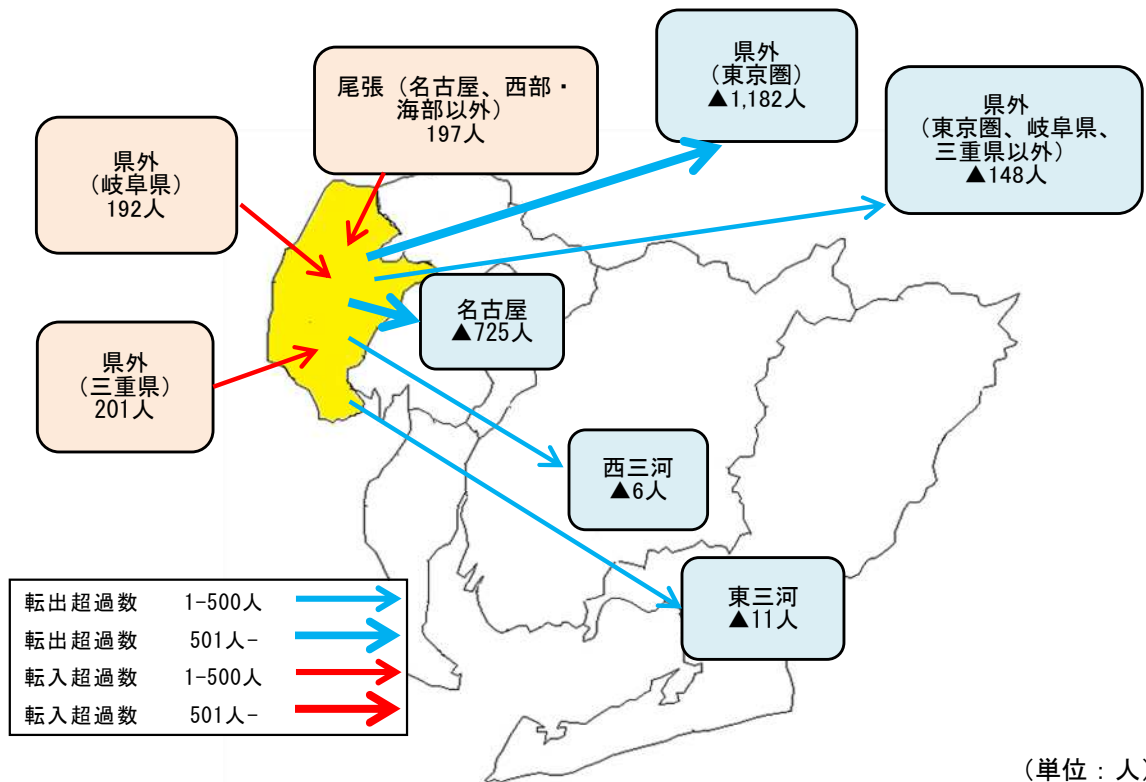


地域別の転出入の状況③(尾張中西部・海部)



- 尾張中西部・海部地域の転出入は、1,482人の転出超過となっている。岐阜県・三重県や尾張（名古屋、西部・海部以外）といった周辺地域に対して転入超過となっている。
- 男女ともに15～29歳を中心に転出超過となっている。

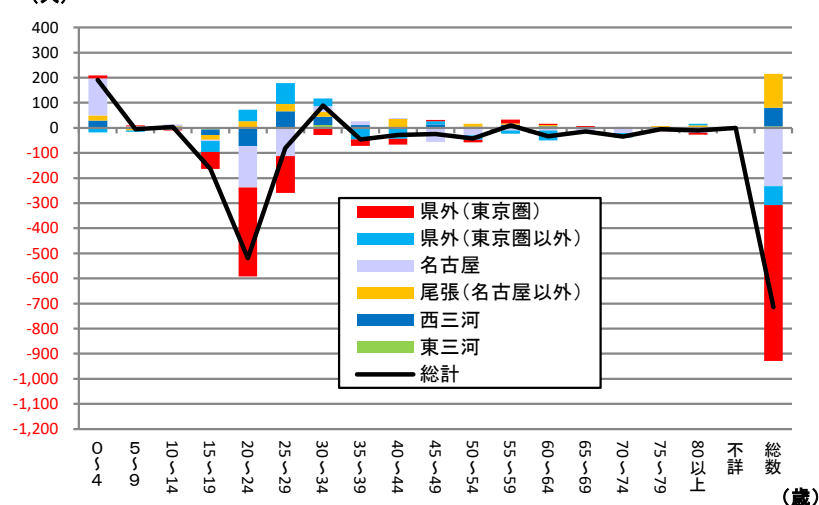
尾張中西部・海部地域における転出入の状況（2024年）



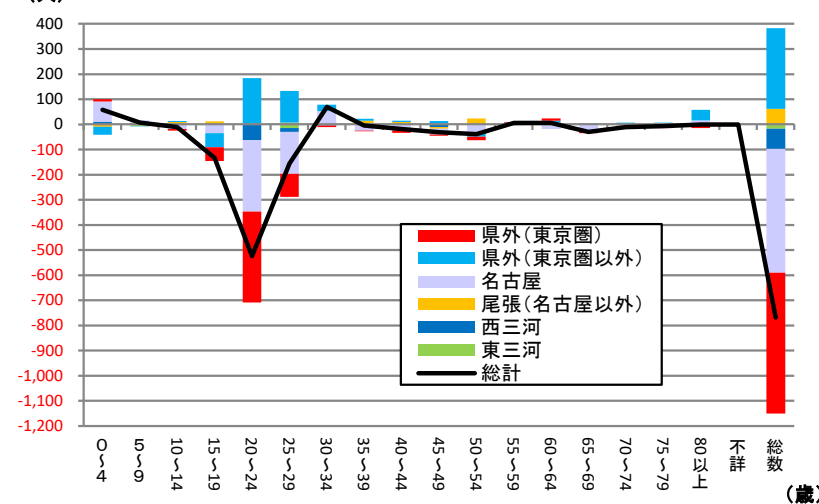
(単位：人)

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
転入超過数（県内）	△ 192	△ 133	290	△ 424	△ 545
転入超過数（県外）	△ 1,019	△ 860	△ 1,113	△ 998	△ 937
転入超過数（うち東京圏）	△ 1,227	△ 1,022	△ 1,109	△ 1,183	△ 1,182
転入超過数（総計）	△ 1,211	△ 993	△ 823	△ 1,422	△ 1,482

5歳階級別純移動数 尾張中西部・海部（男性）



5歳階級別純移動数 尾張中西部・海部（女性）

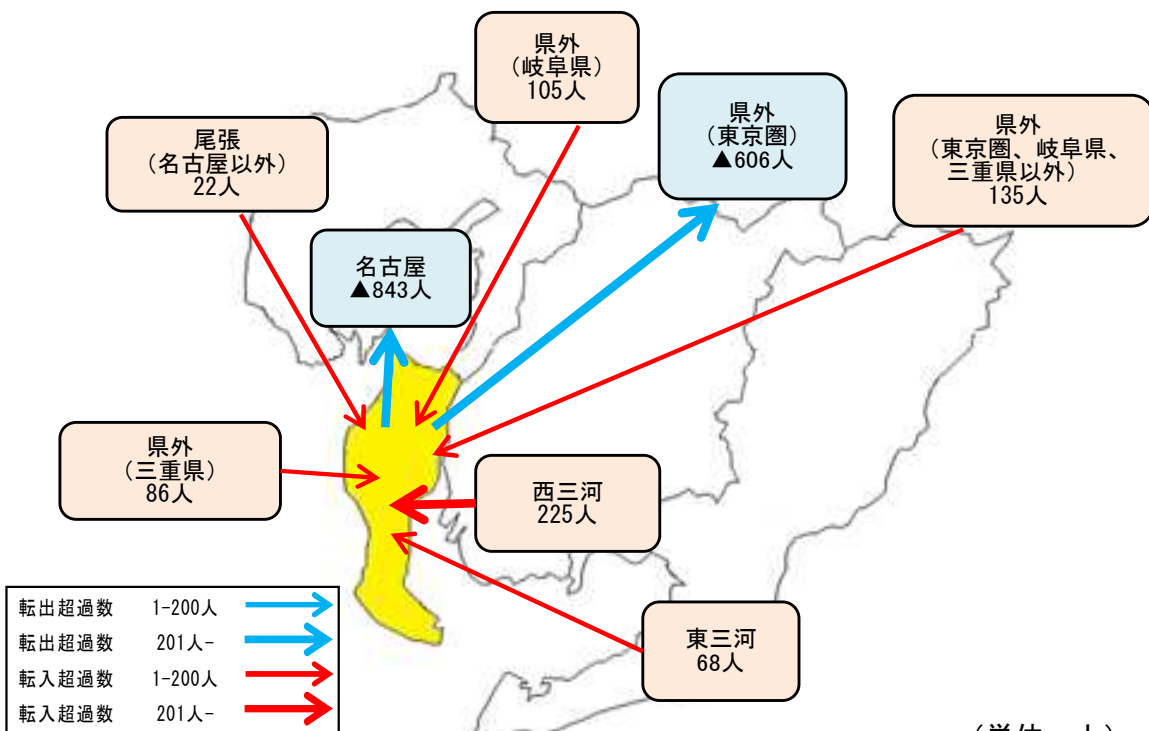


地域別の転出入の状況④(知多)



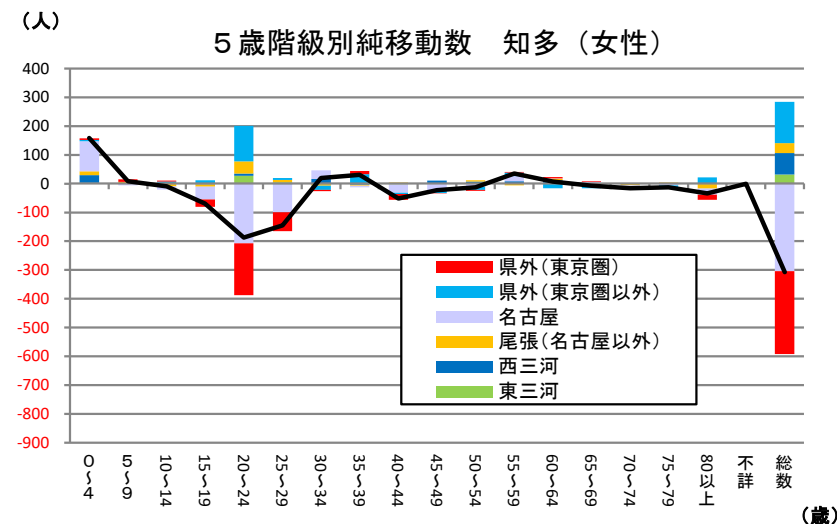
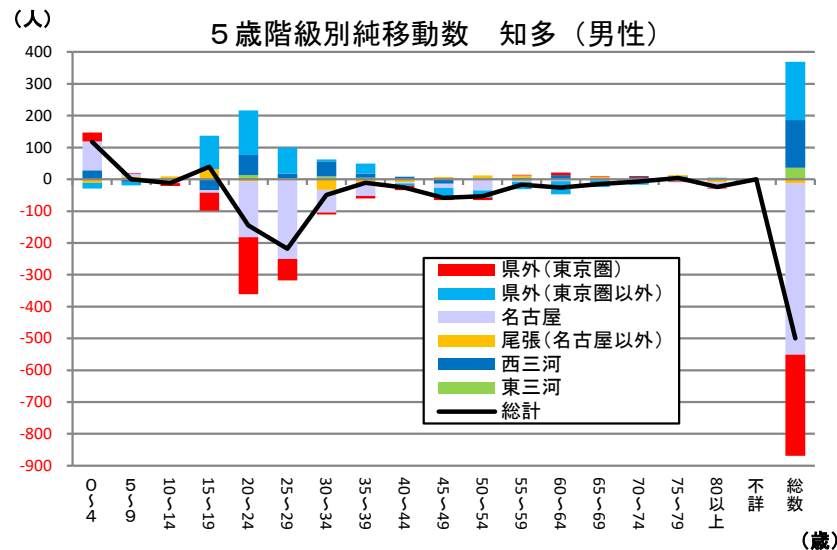
- 知多地域の転出入は、808人の転出超過となっている。名古屋市及び東京圏を除く県内外に対しては転入超過となっている。
- 男性は15～19歳が転入超過となっている一方、男女ともに20～29歳を中心に転出超過傾向となっている。

知多地域における転出入の状況（2024年）



(単位：人)

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
転入超過数（県内）	△ 491	△ 966	△ 547	△ 267	△ 528
転入超過数（県外）	△ 369	△ 760	△ 673	△ 448	△ 280
転入超過数（うち東京圏）	△ 573	△ 602	△ 635	△ 576	△ 606
転入超過数（総計）	△ 860	△ 1,726	△ 1,220	△ 715	△ 808

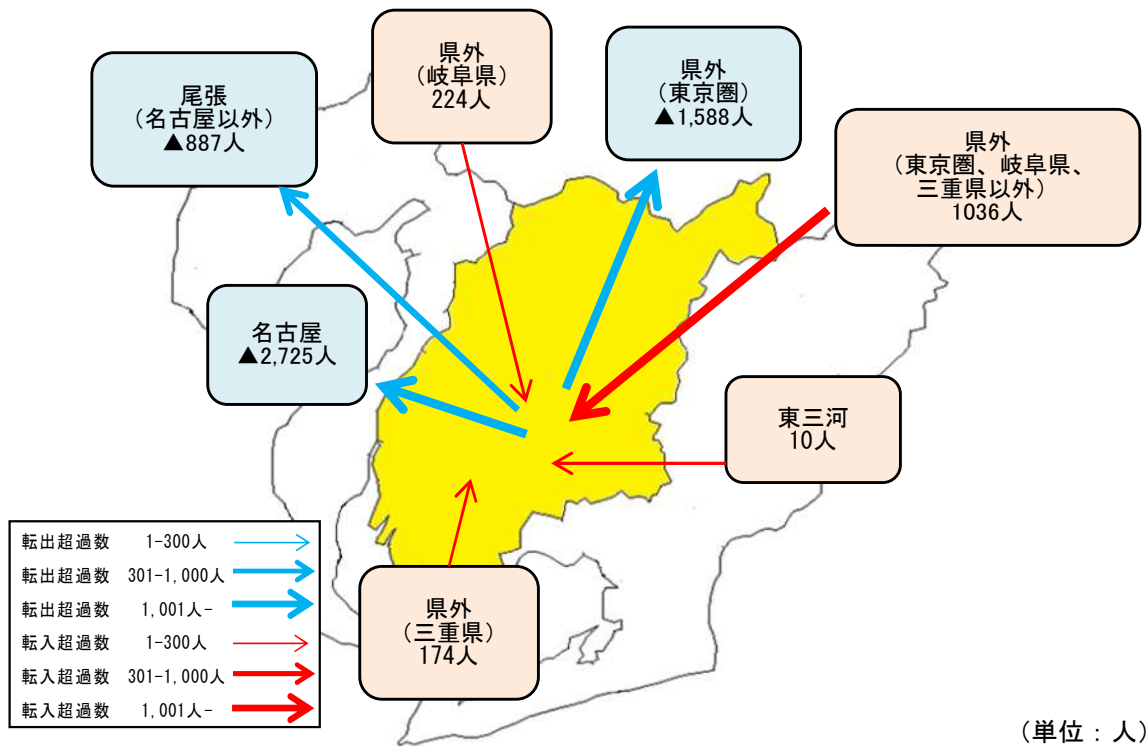


地域別の転出入の状況⑤(西三河)

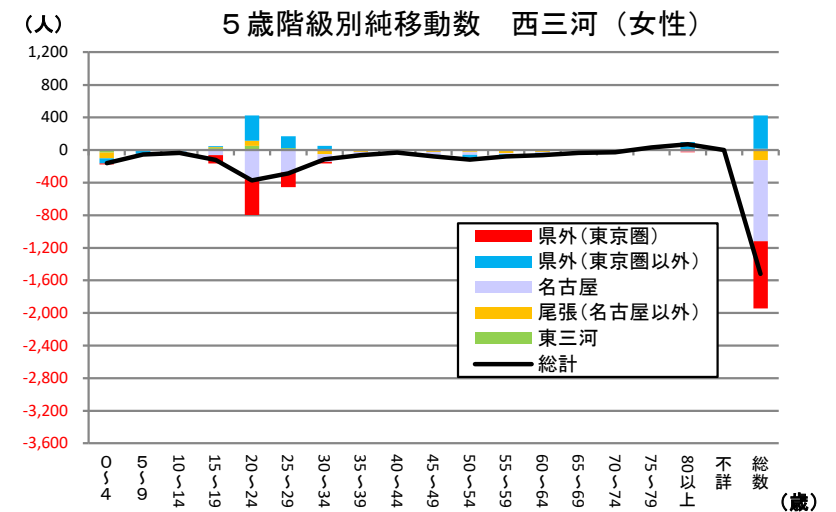
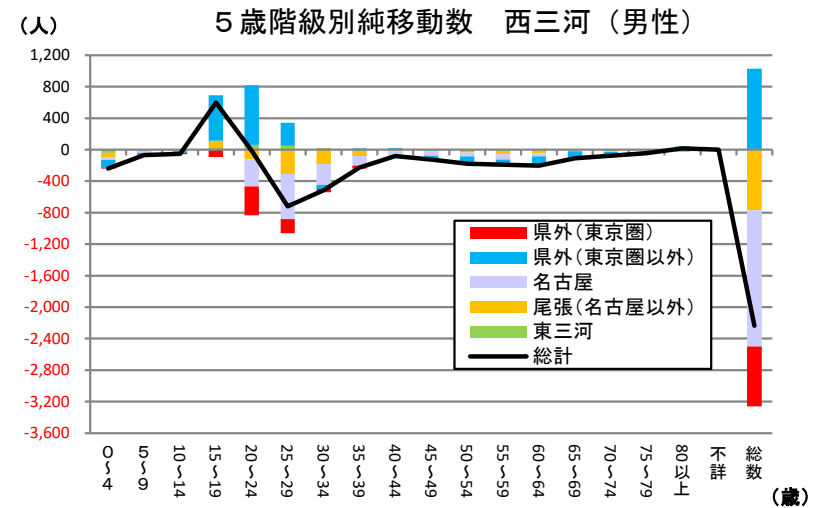


- 西三河地域の転出入は、3,756人の転出超過となっている。東京圏を除く県外及び東三河に対して転入超過、名古屋、尾張及び東京圏に対しては転出超過となっている。
- 男性は15～24歳は転入超過の一方、25～79歳は転出超過となっている。女性は75歳以上の高齢者を除き、転出超過となっている。

西三河地域における転出入の状況 (2024年)



	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
転入超過数 (県内)	△ 4,400	△ 3,497	△ 3,231	△ 3,231	△ 3,602
転入超過数 (県外)	△ 991	164	△ 276	△ 276	△ 154
転入超過数 (うち東京圏)	△ 1,647	△ 1,533	△ 1,775	△ 1,775	△ 1,588
転入超過数 (総計)	△ 5,391	△ 3,333	△ 3,507	△ 3,507	△ 3,756

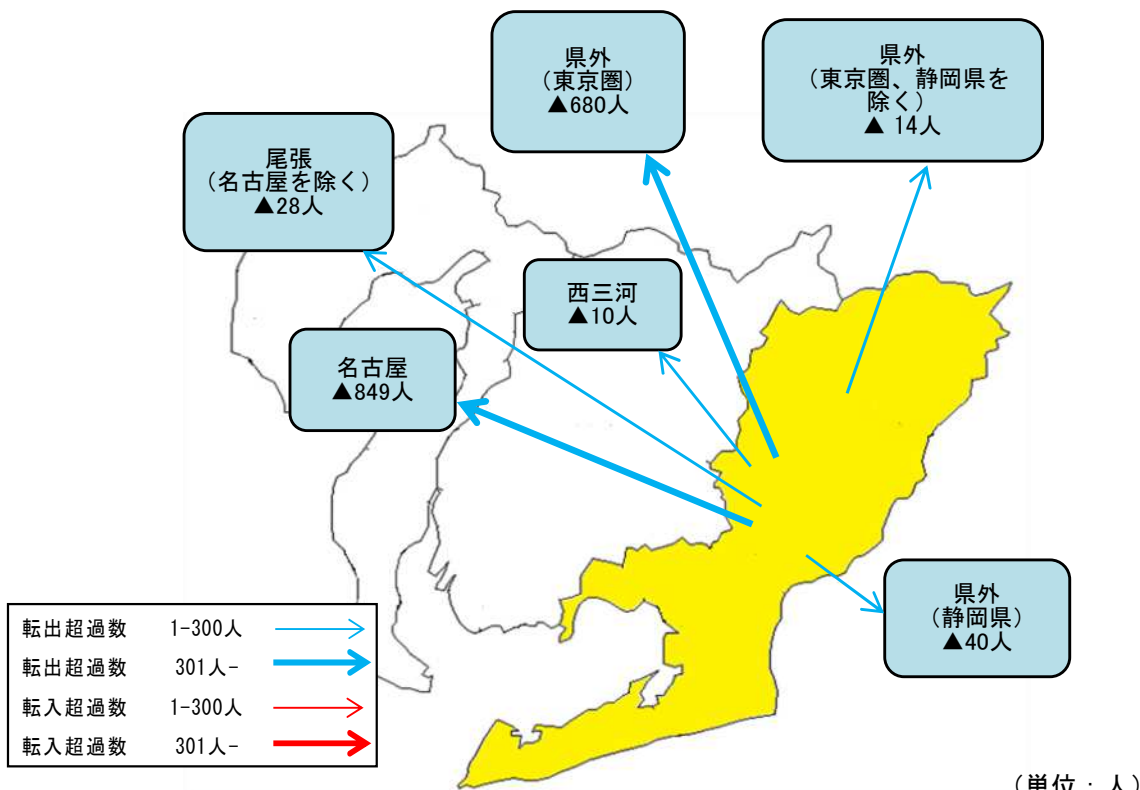


地域別の転出入の状況⑥(東三河)



- 東三河地域の転出入は、1,621人の転出超過となっている。名古屋市を含め尾張、西三河、県外に対して転出超過となっている。
- 男女ともに15～29歳を中心に転出超過となっている。

東三河地域における転出入の状況 (2024年)



(単位：人)

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
転入超過数 (県内)	△ 815	△ 250	△ 553	△ 756	△ 887
転入超過数 (県外)	△ 861	△ 620	△ 1,244	△ 1,212	△ 734
転入超過数 (うち東京圏)	△ 625	△ 734	△ 863	△ 959	△ 680
転入超過数 (総計)	△ 1,676	△ 870	△ 1,797	△ 1,968	△ 1,621

